

# Sharing Nature Life

遊んで、  
学んで、  
楽しんで!

これまでも、  
これからも  
ありがとう

2021  VOL. 33

設置店募集!

Nature Game No.013

ミクロの世界をたんけん!〈ミクロハイク〉

Nature Game No.185

森とわたしのつながり〈生命の流れ〉

Nature Game No.110

SDGsを取り入れよう!〈ノーズ〉

♡  
コロナの1年を  
乗り越えつつ



<https://www.naturegame.or.jp/>

## Contents

- 特集/これまでも、これからも ありがとう…p2
- 体験と学びを深めるネイチャーゲーム(松本信吾)…p8
- ネイチャーゲームリーダーのあるある/(ミクロハイク)…p10



自然に寄りそう 未来につなぐ  
公益社団法人  
日本シェアリングネイチャー協会



スポーツ振興くじ助成金を受けて  
作成しています

協力してくれて  
ありがとう

ボランティア  
ありがとう

ヒントや  
アイデアを  
ありがとう

これまでも、これからも

# ありがとう

イベントを  
やってくれて  
ありがとう

グッズを  
買ってくれて  
ありがとう

わかってくれて  
ありがとう

コロナ禍の1年を振り返ると、研修やセミナーが  
ことごとく中止になり、グッズ販売もギリ貧に……。  
苦しいことが多かったけれど、全国の会員のみなさんが  
救ってくれた、支えられた1年でもありました。  
今月の編集会議では、そんな支援のエピソードが  
たくさん出てきました。ピンチをチャンスに変える  
ことができたのは、みなさんの活動への想いがあったから……。  
感謝を込めて、今、ありがとうを届けます。

日本シェアリングネイチャー協会

コロナ禍のこの1年、会員のみなさんや協会にとって大変な年でした。事業の大きな柱である研修は次々中止、新規会員を増やすこともできず、会員数が1000人減となり、事務局は危機感でいっぱいでした。

## コロナ禍で会員も

増やせない、

研修もできない。

事業が止まってしまおう……。できることはないか？

「生みの苦しみを味わいました。」

「限られた環境の中でできることはないか？」  
「ここまでではできないかも」「頑張ってみただけど、やっぱり難しい」—— 試行錯誤をしながら新しい方法を創り出す「生みの苦しみを味わいました。」

オンラインでの講座・  
研修のチャレンジ。  
そして対面も少しずつ再開……。  
正解がない中での模索が  
続いています。

「自然に直接触れ合って、心地良さを知ってもらおう。仲間と体験して分かち合う。それをオンラインで伝えることができるの？」—— こうした葛藤の中でチャレンジしてみると、オンラインでも発見があったんです。地域や距離の壁がなくなり、参加しやすくなりました。

なにより、「慣れないけどやってみよう！」という会員の方々のチャレンジ精神に支えられたところも大きいです。とはいえ、すべての会員の方にオンラインで届けられないので、それがこれからの課題ですね。

事務局長・渡辺

2020年度代表理事・西澤

2020年度常務理事・井上

Thank you!

Thank you!

Thank you!



ネイチャーゲームをはじめとする『シェアリングネイチャー』それは、人が自然を尊重し、共生していく社会のキーワード。公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会は「自然と遊び、自然から学ぶよるこびにあふれた生活、——を送る人の輪を広げる活動を行っています。」

コロナ禍だから生まれ、育ってきた  
会員でない人も魅了する  
ハピラキプロジェクト！



事務局スタッフ・藤田

全国の組織・会員の方々の協力で、文科省が立ち上げた「子どもたちの心身の健全な発達のための子ども自然体験活動推進事業」に参画。この事業をキャッチアップできたのはハピラキ仲間のおかげで、文科省から事業発表が出て3日後には説明会を開くほどのスピード感！以前実施した同様の事業は60会場からいなのに倍の135会場です。「子どもと一緒に！」という気持ちと共に、参加した子どもたちからも「友だちに教えたい」という声が上がりました。2000人以上の参加者がいて、感染者を出していないことも自信につながりました。

ハピラキ仲間の熱意で  
文科省事業に参画、  
135の会場数で実施！  
やりたい気持ちが  
表れています。



事務局スタッフ・豊國

大学、短大、専門学校等で学生向けに資格取得講座を開催している課程認定校でも、コロナ禍での苦労があったようです。大学は小中高に比べていち早くオンライン授業を取り入れていたんですが、宿題だらけで実習ができない……と、先生方は苦慮されていました。それでも野外であれば……と少しずつ実習授業を再開した学校もあり、初登校での授業がネイチャーゲームという新入生もいました。その授業の最後に「フールドポエム」をしたら「会えた 緑の下で」「虫はキライだけど みんなは好き」という言葉が出てきて、先生も喜んでいました。ぼくたちもうれしい瞬間でしたね。



事務局スタッフ・宮川



anigato~

「私たちがやりますよー！」  
熱量の高い会員さんの  
ボランティアに  
すごく助けられています！

協会は経営だけではなく、マンパワー的にも、退職者の補充ができなかったりして苦しい局面に立たされました。それを知ってか知らずか、会員の中には「こういうことをしたい」「これやらない？」と声をあげて、しかも自分たちで動いてくださる方々がいて、すごくありがたかった。本来なら事務局がやらなければならぬことを、会員の方々が担ってくださったんです。たとえば、オンライン研修を編集してアップする作業は、会員のボランティアにお願いしています。やってくださる気持ちには「感謝」のひと言しかありません。



anigato~

2020年度専務理事・三好

情を率直に会員のみなさんにも知ってもらい、純粋な寄付のお願いをしました。すると、それに応えてくださる会員の方々が大勢いたのです。全国の仲間に応援してもらえ、支えられている組織なんだと、ホッとしたのと同時に、本当に胸が熱くなりました。

純粋な応援の  
気持ちからの寄付。

支えられている組織なんだな……と、  
胸が熱くなりました。

コロナ以前は、寄付の呼びかけも積極的にはできませんでした。2000円の寄付をしていただくと、SDGsのロゴマークのピンバッジを差し上げていたのですが、会員の方も寄付というよりはピンバッジを買うという意識に近かったような気がします。しかし今回は、コロナ禍で協会の苦しい台所事情を率直に会員のみなさんにも知ってもらい、純粋な寄付のお願いをしました。すると、それに応えてくださる会員の方々が大勢いたのです。全国の仲間に応援してもらえ、支えられている組織なんだと、ホッとしたのと同時に、本当に胸が熱くなりました。



事務局スタッフ・山田

講座が中止！これはヤバイ！  
ひらめいたのが教材を家庭用キットにして  
おうち時間を楽しむ提案でした。

講座が中止！教材は売れない！売り上げゼロ……。物販担当として、とても焦りました。担当スタッフ3人で売り上げを伸ばす方法を考え、ひらめいたのがネイチャーゲームの教材を日常生活で使えるキットに再編して、「おうち時間」を豊かにしようという商品展開でした。おかげで会員のほか、会員以外の方のネットショップへのアクセス・注文が増えました。爆発的ヒット！とまではいなくても、新しいお客さんとなつなげたことで、スタッフのモチベーションも上がりました。



事務局スタッフ・佐々木

事務局スタッフ・幸山

# Report



「ショップの売り上げはとんだです。こつ訴えた決算セールはかつてない注文件数を記録。ここまで買ってくれたんだ、と涙腺が！」

毎年恒例の決算セールでは、会員のみなさんが支えてくれて、今までにない注文件数をいただきました。実はセール前のオンラインでの事業説明会で「売り上げが落ちました。セールでは目玉商品も用意しているの、見に来てほしい」と訴えたこともあり、会員の方々が応援してくださったのです。注文数は、会員のみなさんが当協会を支える気持ちの表れだと思っています。

約2週間のセール期間中3回も買ってくださる方や、今すぐには必要ないけど、いずれ使うからと買ってくださる方もいたりして……。2つの目玉、「100円商品」と、ありがとう、サンキューの「390円商品」は初日で完売。商品を追加するほどの盛況で、正直、涙が出ました。



協会の苦しさを会員のみなさんが「自分のこと」として考えてくださった。まさにシェアリングネイチャーマインド！

スタッフそれぞれの立場から、会員の方々、仲間への「ありがとう」を胸に秘めて乗り越えてきた1年でした。これまで育んできたシェアリングネイチャーマインドが随所で発揮され、ピンチをチャンスに変えてつながることができた、事務局スタッフは実感しています。

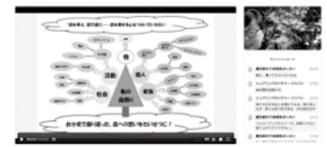


## Event Report 1

「森を考え、森で遊ぶために」森との自分史を振り返る

2021年4月17日  
有賀朋子(千葉県)

森との関わりについて10代、20、30代、40、50代そして今——と記憶の引き出しを開けてみると多くの「気づき」が紡ぎ出されます。言葉で森をイメージすれば、「癒し」恵み、住処、時には「白骨」というものもありました。たとえ空白の年代があっても、何かしら繋がっているものがあつたんだとうれしい気持ちになり、自分史で振り返った。森への想い、を大切に、お気に入りの森で活動を続けたいと思いました。



## 被災地復興支援情報

「カフェこびる」に40人が参加！

小里アリス(熊本県協会)

熊本と大分を激しく揺さぶった熊本地震から間もなく5年、そして、東日本大震災から10年と1ヶ月にあたる4月11日(日)、甲佐地区防災公園で38回目の「カフェこびる」を開催しました。今回は、ちよつとしたフェスティバルのようにあちこちにテントを立て、お茶だけではなく、ネイチャーゲームや紙芝居、ソーラークッキングなど、たくさんのお楽しみを用意。隣接する災害公営住宅や子育て支援住宅などから、約40人の方々がいらつしました。お茶を飲みながら、「家は仮設より立派になつたけれど、家のドアを開けるとそれっきり……。普段はあまり人としゃべることがない」というお話も伺いました。災害からの復興を超えて、新しい共生社会をつくる営みは、まだまだ続きます。今後も「できるしこ」の応援をよろしく願います。



## Event Report 2

2021年4月21日  
原 令子(岐阜県)

「徳島の風さん」こと山引グラントレーナーによるオンラインセミナーに参加。パワーを解放させて子ども心をつかむアイスブレイクでは、理解力を高める工夫や一人ひとり認める言葉かけがいつぱい！

年間100回にも及ぶ園での実践を17年間も続けてこられ、笑顔で、80の手習い、と称してオンラインを駆使し、力強いまなざしで「より良いものを」と発信続ける風さん私も「今できることを精いっぱいやる」と思いました。



## 災害支援活動メーリングリストのご案内

被災地復興支援情報を配信します。登録をご希望の方は下記までご連絡ください。  
tunagarou@naturegame.or.jp  
(担当:佐々木)



## News

### 2021年度助成金採択状況

下記の助成金が採択されました。  
■令和3年度スポーツ振興くじ助成事業  
◆情報提供(本誌を含む広報ツール)

### 2021年度永年会員情報

当協会では、会員を永年続けてこられた方を表彰しています。2021年度は「10年継続会員」216名、「20年継続会員」278名、そして今年から新たに「30年継続会員」53名が誕生！該当する方には、6月に「記念バッジ」をお送りします。



### 専門委員会報告

- 安全対策委員会-3月4日(木)
  - ◆当協会のコロナ対応の動きについての報告
  - ◆文部科学省事業の開催報告
  - ◆次年度の安全対策関連講座について
  - ◆安全情報のSN組織共有について

### 2021年度の縮小事業について

本誌特集でもお知らせした通り、コロナ禍において各種講座が行えない状況により、日本協会の経営が厳しい状況になっています。その結果、残念ながら今まで行ってきた下記事業やサービスを縮小することになりました。

- ・本誌「SNL」年4回発行を、年3回(6月、9月、12月)に縮小します。
- ・昨年度の時点で、今年10月に予定していた「35周年記念オンラインセミナー」は中止します。
- ・「実践事例・研究広告」については募集を休止します。
- ・「シェアリングネイチャー奨励賞(サンクス賞)」については募集を休止します。
- ・ネイチャーゲーム普及パンフレット、チラシ類については増版せず、現在の在庫分がなくなり次第、配布を終了します。
- ・カード式の「会員証」は廃止します。更新をいただいた方には更新証明に当たる書類をお送りします。
- ・インストラクター、コーディネーターへのニュースレターについては、紙媒体ではなくHPへの掲載に移行します。

### 第16回全国一斉シェアリングネイチャーの日

毎年10月3日曜日は「全国一斉シェアリングネイチャーの日」です。詳細は9月号で！  
●実施日：10月17日(日)  
●テーマ：ピースを見つけよう！  
【注意】このテーマは日本協会が一般向けに提案するものです。地域のイベントのテーマは自由に設定してください。

### 寄付のお願い

当協会の活動を支えてくださる企業・団体・個人のみなさまからの寄付を受け付けています。詳細については、下記QRコード、または事務局までご連絡ください。  
担当：渡辺  
jimukyoku@naturegame.or.jp  
TEL 03-5363-6010



Let's keep moving forward together!





体験と学びを  
深める  
ネイチャーゲーム

# 幼児とネイチャーゲームを楽しむためのポイント 自然は「大いなる教科書」。 「教える」より「感じる」を大切に

みなさん、こんにちは。シンゴリラこと松本信吾です。  
以前まで赴任していた広島大学附属幼稚園では、週に1回「森の日」を設定して、森の中を保育室として活動してきました。そこでの体験を踏まえながら、幼児が自然に親しむ秘訣を教えちゃいます！



子どもは探求者で、発明家でもある

point 1  
正解は作らない。  
子どもの空想から  
対話を広げていく



point 2  
同じ自然物は  
ひとつとしてない。  
だから多様な感性が育まれる



point 3  
特別なことをするのではなく、  
遊びと生活がつながるように



point 4  
安心して自然にどっぷり浸りこめる  
心もちを一緒にもつ



**松本信吾**  
岐阜聖徳学園大学教育学部教授  
1968年福岡県生まれ。保育者一筋20数年、愛称「シンゴリラ」として子どもたちに大人気の保育研究者。前任の広島大学附属幼稚園では、園を“森のようちえん”化して、森での保育を模索・実践し、現在に至る。

が、木の楽器を作って音楽もできれば、自然物での造形表現もできる。秘密基地、木のベッド、葉っぱの傘……、その子らしい想像力が発揮できるのです。

**子どもの感性に寄りそい、分かち合う**

園では葉が落ちていて、自分で拾ってきて食べる経験もします。そうすると子どもたちは、食事を再現してみたくなり、「パーベキューごっこ」に発展します。このように、生活と遊びがつながることは、幼児期にはとても大切なことです。

また自然には、不思議さ、美しさを感じる要素がたくさんあるので、遊ぶ中で、「どうなるんだろう?」と疑問が湧いて、いろいろ試してみたくくなります。この気づきや意欲こそ、子どもたちの学ぶ力の源。指導者はネイチャーゲームを通して、ぜひ子どもたちの驚き・発見・感動を分かち合ってください。

机上の遊びも楽しいものですが、その子らしさ、感性はなかなか現れにくいものかもしれません。その点、自然のものを使うと、感じたこと、工夫したことがそのまま表現されます。こうしてみると、まさに自然は“大いなる教科書”ともいえますね。

子どものネイチャーゲームでは、マニュアル通りの進行ではなく、子どもたちが入り込みやすいようにアレンジし、とくに言葉で説明するのが難しい幼児期であれば、動きで伝えるなどして十把ひとからげではなく、一人ひとりの子に寄りそいたいものです。

「おもしろいね!」「いい匂いするね」と、自然への窓を一緒に開いていく。まさに「一緒に感じる」ことを大事にする。そんなネイチャーゲームの原点に返りながら、子どもたちには「教える」より「共に感じる」ことを意識して実践していきましょう。

point 6  
みんなと一緒にやってみる、  
感じ合ってみる楽しさを。  
子どもは遊びの天才!



point 7  
すごいね!きれいだね!  
不思議だね!なぜ?どうして?  
または、黙って一緒に見つめて  
子どもの感性を受けとめる



point 8  
自然物の遊び方、  
使い方は無限。  
子どもにまかせて



point 9  
心動かされる体験が、  
子どもの気づきや  
学ぶ意欲へ導く



point 5  
知識を教えるより  
「なにを感じたか」を  
大人も一緒に感じて

松本先生も寄稿しているアクティブラーニングの実践書「体験と学びを深めるネイチャーゲーム」。幼児と取り組むネイチャーゲームのヒント満載です!



日本シェアリングネイチャー協会 2420円(税込)

この本の発行を記念したオンラインセミナーのレンタル配信準備中!



お申し込みはこちら



ジョセフ・コーネルの  
**Sharing Nature Wellness**  
シェアリングネイチャー  
ウェルネス



森に出かけ、森に生命をもたらしている日光を感じましょう。すると、樹木の体の80%を構成する物質が、大気の中で生きていることを実感できるでしょう。

〈生命の流れ〉 イラスト/いのうえみさお

このエクササイズをするには、美しい森に行くか、あるいはあなたの心の中に森を思い浮かべます。あなたの顔を上げて、太陽のあたたかさを感じましょう。近くの樹木をじっくりと見て下さい。どのように空に伸びているでしょう？ 樹木の体は、大地からではなく、大気や空のエネルギーを光合成によって取り込んで作り出されているのです。大きな樹木の幹、枝、葉を観察して下さい。樹木をつくっている物質はどこから来たのでしょうか？ 答えは大気からです。大気中の二酸化炭素から得られた炭素が樹木を形作っているのです。太陽と同様、樹木は地球に大きな影響を与えています。森林は地球の肺であり、数えきれない生物に食物と隠れ家を与えています。あなたが樹木やあらゆる生き物との聖なるつながりを深めるには、森に出かけて、メリッサ・クリーグの「Tree of Light Meditation」という詩を口ずさんでみて下さい。

森が息を吐く時、私は息を吸い込む。

私が息を吐く時、森は息を吸い込む。

私たちは与えることで受け取り、

私たちは受け取ることで与える。

あなたが呼吸をするたびに、近くの樹木や森の生き物たちに息と命を与え、逆に与えられると感じてみましょう。

（『空と大地が私に触れた』より）

Joseph Cornell  
1950年米国生まれ。野外活動インストラクターを経て1979年「Sharing Nature with Children」発表。以後、世界的なナチュラリストとして活躍。当協会名誉会長。



35周年!!



おかげさまで

1986年に始まった日本国内でのネイチャーゲーム普及運動は、今年35周年の節目を迎えました。私たちの活動に賛同し、支えてくださったすべての人々に感謝を申し上げます。



つなげています  
スポーツへの想い

スポーツの収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。



いつの間にか人だかりが...そして、

まだやるぞ

わあー

ガワザワ

さ通された報

怪獣みたい!

アリガ

住宅街でちよ〜とよい草履合の空き地を見つけてマイクロハイクを楽しんでいたら...

3分経過~

5分経過~

10分経過~

※マネしないで下さい

マイクロハイクとは...  
虫メガネを顔にくっつけるようにして、顔ごと見るものに近づけるのがコツ。すると、まるで自分がアリになったような疑似体験ができ、新しい発見があります！住宅街で行う時は集中し過ぎに注意しましょう。

マイクロハイクの情報はこちら

ネイチャーゲーム

リーダーの

あるある

あるある

◎「マイクロハイク」編

全国津々浦々でネイチャーゲームに没頭する会員たち。時には熱中しすぎて我を忘れることも...。そんな面白エピソードをマンガにしてみました。

マンガがみ

読者プレゼント!

Present

応募締め切り: 2021年7月15日

アンケートに答えて  
シェアリングネイチャーグッズを  
ゲットしよう!

アンケートは  
◆HPトップページから  
<https://www.naturegame.or.jp/>  
◆メール・FAXでも  
tool@naturegame.or.jp  
FAX 03-5363-6013

メール・FAXの場合は下記をご記入ください  
【アンケート項目】  
1. お名前 2. ご住所(会員番号) 3. 本誌の評価(A.とても良い/B.良い/C.普通/D.良くない) 4. 良かったコーナー 5. プレゼント希望(①/②/③) 6. ご意見・ご要望  
7. 本誌をどこで入手しましたか?

空の色が変わる  
— 音が変わる  
— 虫の鳴き声が変わる etc.  
今日の夕暮れ時、まずはじめに感じるのは...

次々変わる色・音におい温度や湿度も感知アイテムだ!!

① ジョセフ・コーネルのサイン入り! 書籍『空と大地が私に触れた』3名様  
創始者ジョセフ・コーネルが、「自然を尊重し自然と共生する」シェアリングネイチャーの考えを、日々の生きがいにまで高めようと著した1冊。(2,200円税込/日本シェアリングネイチャー協会)

② シェアリングネイチャー刻印入りSDGsバッジ 5名様  
環境や人権、エネルギーなど、世界中で取り組みが進んでいるSDGs(持続可能な開発目標)。裏面に「Sharing Nature」の刻印を入れたオリジナルSDGsバッジ! (非売品/日本シェアリングネイチャー協会)

③ 待ってた! 新商品!! サンセットウォッチカード10枚入り 3名様  
(サンセットウォッチ)は、夕暮れ時の自然の変化を堪能するネイチャーゲーム。コロナ禍でのおうち時間、ワクワク体験をしてみませんか? (500円税込/ネイチャーゲームショップ)

自然を楽しむグッズがいっぱい! **ネイチャーゲームショップ** [検索](#) [click!](#)

## SDGs <ノーズ>



→楽しみ方→

- ① リーダーはヒント面が見えないようにカードを持つ。
- ② リーダーはヒントをひとつずつ読み上げる。(ヒントを読む順番は対象によって工夫する)
- ③ 参加者はヒントを聞きながら、何の動物かわかったら、鼻の頭に指を乗せて合図をする。
- ④ 最後のヒントまで読み終えたら「せーの！」の掛け声で、みんなで動物の名前を言う。

<ノーズ>  
情報はこちら



### クジラ



- ( ) 私は哺乳類の仲間です。
- ( ) 体の色は黒っぽい種類が多いです。
- ( ) 私は優れた聴覚によって、数百キロ離れた仲間とコミュニケーションをとることができます。
- ( ) 私はとても長生きで、80年も生きる仲間もいます。
- ( ) 私は海の中で生活しています。
- ( ) 私の食べ物は魚やイカ、プランクトンなどです。
- ( ) 私の仲間は地球最大の生物といわれています。
- ( ) 私たちのお腹の中に、人間が出したプラスチックごみが入り込まれてしまうことがあります。

クジラの仲間は全部で80種にもおよび、イルカやシャチもクジラの仲間に分類されます。近年、海に打ち上げられたクジラの胃の中から大量のプラスチックごみが見つっています。私たち人間の生活が、海に生きるクジラにも大きく影響を与えています。



### ヒト



- ( ) 私の足は2本です。
- ( ) 私は雑食で、草でも肉でも何でも食べます。
- ( ) 私たちは地球上のあらゆる陸地に生息しています。
- ( ) 私の体の大きさは大人なら150～190cmくらいです。
- ( ) 私たちは視覚や聴覚を使い、さまざまな方法でコミュニケーションをとります。
- ( ) 私たちの生活が地球上の他の生きものたちに影響を与え、それがとても大きな問題になっています。
- ( ) 私たちは火を使う唯一の生きものです。

私たち人間は生物学的には「ヒト」という一種の生物です。他の生きものたちと同じように地球の恩恵を受けながら生活をしています。しかし、ヒトが増えたことで生息域が拡大し、地球に負荷をかける生活により、他の生きものの生存を脅かす存在になっています。



### コアラ



- ( ) 私は草食動物です。
- ( ) 私の体の大きさは大人で60～85cmです。
- ( ) 私は1日に16時間も寝るといわれています。
- ( ) 私の赤ちゃんは親のお腹にある袋の中で育ちます。
- ( ) 私は野生ではオーストラリアに住んでいます。
- ( ) 2019～2020年に起こった長期間の森林火災で、多くの仲間が命を奪われたりケガをしました。
- ( ) 気候変動や病気によって頭数が減少し、このままだと2050年頃に絶滅するといわれています。

動物園では人気者のコアラですが、野生では絶滅が危惧される生きものです。2019～2020年に半年にわたって続いた森林火災で、多くの個体が亡くなりました。森林火災の原因は、気候変動による少雨と乾燥だといわれています。気候変動の原因について考えてみましょう。



### イノシシ



- ( ) 私は森や人里の近くに住んでいます。
- ( ) 私の体の大きさは140～170cmです。
- ( ) 私の体は茶色っぽい色をしています。
- ( ) 私は早く走ることができ急発進や方向転換も得意です。
- ( ) 私は雑食でドングリやキノコ、昆虫やミミズなどを食べたり、地面を掘ってタケノコや植物の根を食べます。
- ( ) 私はスタ場という場所で泥を浴びます。
- ( ) 人里に降りてきて、人間が作った畑の農作物を食べることが問題になっています。

農作物被害が多い山里では、毎年多くのイノシシが人間によって捕獲されています。日本政府は現在80万頭生息しているイノシシを50万頭にまで減らす計画を実行中です。頭数が減り絶滅危惧の動物もいれば、人間によって頭数を減らされる動物もいます。



※このページをカラーコピーして、切り取ってお使いください

シェアリングネイチャーライフ Vol.33 通巻114号  
発行日 2021年6月15日  
発行所 公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会  
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-13-17  
ワークスナカノ2階  
Tel. 03-5363-6010 Fax.03-5363-6013  
メール jimukyoku@naturegame.or.jp

編集：佐々木香織、校条 真（風韻社）  
デザイン・DTP：花平和子  
表紙消しゴムハンコ：矢原由布子  
本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断掲載を禁じます。

#### 編集後記

ページ上↑にある<ノーズ>のカードを作りながら、ふと思った。ヒトが自分の子どもを思うように、地球上の動物のことを考えることができれば……。どこまで「自分ごと」と思えるか？が、私たちに課せられた課題なんだな。(佐々木)

設置店募集!

ご連絡ください!

